

### 第3回 次期ごみ処理施設整備専門委員会 議事要旨

日時：令和4年9月7日（水）14：00～16：30

場所：泉南清掃事務組合 管理棟 3階 会議室

#### 【出席者】

・委員 4名

委員長	吉田 登	国立大学法人 和歌山大学教授
職務代理者	下村 泰彦	公立大学法人大阪 大阪公立大学教授
委員	水谷 聡	公立大学法人大阪 大阪公立大学准教授
委員	蓑田 哲生	一般財団法人環境事業協会技術顧問

・事務局 5名 稲垣事務局長 古木事業課長 栗阪事業課長代理 八塚事業課主幹  
村上総務課主任

1 開会、資料の確認

2 議事

・前回委員会議事要旨の確認

【質疑等】特に無し

専門委員：変更あれば、事務局に連絡するということをお願いしたい。

事務局：了解しました。

・本日のタイムスケジュールについて

【質疑等】

専門委員：タイムスケジュールでは質疑時間は20分となっている。ただ、質疑でのやりとりは重要と考えるため、多少の延長は了承願いたい。

全委員：了承。

事務局：了解しました。

・ヒアリング質疑応答についての確認

【質疑等】

専門委員：環境アセスの結果を含め施設の整備計画を立てる事業者を選定後、施設建設、施設運用となる運びになると考えるが、この提案でどこまでの業務を今回選定する事業者に実施させるのか再確認したい。

専門委員：非常に長期に渡る業務と考えるので、委員会のあり方も含めてもう一度確認と事務局からの説明をお願いする。

事務局：建設工事は、プラントメーカーにアンケート調査を行って施設の詳細を決

めます。その後、プラントメーカーへの発注仕様書を作成し、その仕様の事業者募集を経て契約するまでの期間を業務範囲としています。

専門委員：今回は、プラントメーカーにアンケート調査等含め発注から契約締結までの支援をするコンサルタント業者の選定という認識でいいのか？

事務局：そうなります。また、発注するための仕様書、要求水準書に加えてその運営方式も本業務の中で最終的に決まっていくことになると思います。その事業方式がどうなるかまだ決まっていませんので、本業務で決めることになると思いますが、例えばですが、運営自体も同時に発注するのであれば、発注支援という形で要求水準書を作成してもらい事業者を募集するという流れになります。

専門委員：この選定ではプラントの中身を理解しつつ運営形態についても要求水準書を作れる技術を持った専門的なコンサル業者を選ぶということか？

事務局：ご理解のとおりです。

専門委員：一点、気になることがある。今まであったプール施設、市民サービスとしての施設がなくなることになる。構成市及び組合本体との意向や計画との関連性が非常に高い問題と考えるので、この判断をどうするのかということを確認したい。

事務局：構成市では、泉南市は別の場所に同様の施設を整備する予定があります。阪南市は、温水プールがなくなことは承知している事なのでそれについての対応はしていくと考えています。組合としては、地元還元策については、今回の契約業者にも相談・検討していこうと考えています。

専門委員：今回の提案では還元施設についての提案がないが、それは評価基準外という理解でいいのか？

事務局：ご理解のとおりです。また、還元施設については、この敷地内または、別の場所に用意するのかなど、構成市の対応も必要になってくると思いますので、今回は評価基準外ということでお願ひします。

専門委員：難しいとは思いますが、委員の皆様にお願ひしたいのは、地元還元策がまだ決めることが出来ない中での提案者への質問になるので、今回、施設設計の中で還元策について、情報や経験にもとづく対応力があるのか？ということについて判断できるような質問をしていただきたい。

全委員：了承。

専門委員：今回の支援業務の中で、ごみ焼却施設を建設する業者と契約するのはいつになるのか？

事務局：令和6年の3月の予定です。

専門委員：事業者を決定させればこの計画は組合のものとして残ることになるが、担当する事業者は変わるかもしれないという理解でいいのか？

事務局：そうなります。例えば、リサイクル施設の運営やごみ焼却施設の施工管理については違う業者になる可能性があります。

専門委員：今回の業務について、発注期間は3年間という理解でいいのか？

事務局：ご理解のとおりです。ちなみに支払いについては、交付金の関係もござい  
ますので、年度ごとの出来高払いになります。

専門委員：ヒアリングの質疑について、委員からの質問は順番を決めず、任意に発言  
するという形をお願いします。

全委員：了承。

専門委員：津波と高潮について、南海トラフ地震を踏まえた総合防災マップとなっ  
ているが、これは津波を踏まえた想定浸水深ではないのか？

事務局：本組合における大地震発生時の津波浸水被害が想定されないことになっ  
ています。ですが、高潮発生時は最大で3.0mが想定されているため、高潮  
発生時の想定になっています。

専門委員：施設全体の最終形状について、このスケジュールを見るとリサイクル施設  
建設までの記載が曖昧。

専門委員：たしかにこのスケジュールでは、最終形状が新ごみ焼却施設の建設で終わ  
っているように感じる。

事務局：リサイクル施設建設までのイメージを作成してもらう必要がありますが、  
リサイクル施設建設までの事業費等が概算でどの程度必要になるのか？今  
回の提案ではその部分が明確にされていませんでした。出来れば専門委員  
の方からその旨、ご意見、質問していただければ事務局としても助かります。

専門委員：施設全体の最終形状について、はっきりさせておく必要があると考える。  
そのことを踏まえると、スケジュールについてはリサイクルも含めての計画  
を記載し、大凡でいいので仕上がった状態のイメージを出してもらう必要が  
ある。ごみ焼却施設については、詳細を出してもらって、リサイクルについ  
ては現時点での想定で概算を出してもらう、今回の業者にはそこまでのこと  
をして欲しいということをお願いしようと思う。

事務局：リサイクル施設建設までの検討は、かなり先のことになるので、仕様書の  
表現が曖昧でした。是非とも委員の方からご確認をお願いします。

専門委員：リサイクル施設については、定性的でもいいので、既存ごみ焼却施設の建  
屋を再利用できるのか？できないのか？という議論の整理をしてもらう。新  
ごみ焼却施設が建設された後に、施設全体をどういった形に上げていくの  
か？ということを経営の中で考えておく必要がある。

専門委員：既存ごみ焼却施設の建屋を、リサイクル施設として再利用することと施設  
全体の最終形状については、確認も兼ねて質問をお願いします。

専門委員：ただ、既存ごみ焼却施設の建屋を再利用することについては耐震の関係か

ら難しいと思うが、再利用の可否について検討した結果は、説明責任が伴うため、事務局もその旨、銘記する必要がある。

事務局：了解しました。

専門委員：新たなリサイクル施設建設に関する環境アセスについての考えは？

事務局：リサイクル施設の規模が今のところ確定できませんが、環境アセスについては、既存のデータを使って積算してもらう形になります。

専門委員：今後のリサイクル施設にも関連することだが、プラスチック新法による製品プラに関して今後の対応について質問する予定であるが、事務局としてはどのように考えているのか？

事務局：プラスチック新法、製品プラについて、構成市の議会でも一般質問になっている案件です。本組合といたしましても構成市の対応を受けて何らかの動きが必要になってきますので、疑問点・確認事項等あれば今回の質疑にて、ご確認をお願いします。

専門委員：ごみ質にも関係する製品プラスチックの含有量把握と影響については、どういった調査を実施するのか質疑にて確認させていただく。

事務局：お願いします。

専門委員：以上、確認事項等について、業者提案ヒアリング時に質疑をお願いします。なお、業者提案ヒアリング終了後に委員会を再開する。

全委員：了承。

＊＊ 業者提案及びヒアリング ＊＊

- ・事業者が提案書に基づきプレゼンテーションを実施、その後ヒアリング

＊＊ 委員会再開 ＊＊

- ・総合評価の結果

専門委員：事務局から総合評価の結果報告をお願いします。

事務局：株式会社エイト日本技術開発関西支社 123.6点 となりました。なお、この評価点は、選定基準の90/150点以上となっています。

専門委員：本専門委員会として、株式会社エイト日本技術開発関西支社を最優秀提案者に選定する。

全委員：了承。

### 3 閉会